

地域懇談会実施報告書

◎自治会名 八坂地区

◎開催日 平成26年2月5日(水)

◎時間 18:30 ~ 20:30

◎開催場所 八坂支所

◎参加人数 54人

◎懇談内容 別添 議事録

- 質問等後日回答を要するもの

なし

- 対応

記録者 八坂支所 総務係 宮田 清

## 1 開会のことば 【八坂地域づくり協議会長】

本日は大変寒い中御苦労様です。皆様には多くの課題がある中、忌憚のない意見を出して頂きたい。

## 2 市長あいさつ

まず、簡単に現在の市政の状況を述べたいと思います。とりわけ3点の重点目標を立てました。1つは定住促進、2つ目には働く場の確保と産業振興、3つ目は安全で安心して住める町づくりです。御案内の様に東洋紡の跡地には昨年4月から飲料水のAWウォーター社が操業を開始しましたが、7年前に平二ツ屋で操業を開始したエアウォーター社は、当初10人でスタートしましたが現在52人まで従業員が増加しております。観光の面では9日間の年末年始の休みの影響もあり、スキー場のブームが戻っている状況で鹿島槍などは昨年比20%増の入り込みになりました。また、人口の面で言うと昨年4月から9月迄の6ヶ月までの自然動態（生まれてくる方と亡くなる方の差）を見るとまだまだ減少は続いています。社会動態（転入と転出の差）が昨年の12月現在でプラスの47人で転入される方が増えています。また田舎暮らしの本で大町市は全国5位にランクされました。いづれにしましても定住政策については様々な施策がある中、徐々に効果が出ております。この後は建設的な意見を出して頂き有意義な懇談会にしていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

## 3 懇談

### 出席者

- ・定住促進住宅について譲渡しても良いということですが、同じ条件で入っている公営住宅(明野)には譲渡の条項はないが譲渡可能にならないか。

- ・農業についての助成が、合併後手薄になっているとこともあり新規農業者に対する助成等をお願いしたい。

- ・市内の商店の空洞化が進んでいる。東洋紡の跡地において、産直売り場を設けてはどうか。

- ・大町市の場合、観光客に対してインフォメーション出来る場がないので作って頂きたい。そこを美麻・八坂地区の人と旧大町地区の人との交流の場にしたいが市長のお考えは。

### 市長回答

公営住宅法によれば譲渡は可能だが、担当課において譲渡価格が折り合わない。

今後は減価を大きくみる方向で模索していきたい。2点目の就労については色々制度はあるが活用されていない状況。過疎地域就職促進奨励金は農業にも適

用できるので是非活用していただきたい。農業に従事したい人がいる時、受け入れの環境が整備されているのが重要で、八坂地区は野菜・花卉等の特色ある作物に特化すべきだが、それには指導者が必要なので農業支援センターと協力していきたい。生鮮食料品を求めに市内の小売店に行く時、ふれあいバスの停留所に出ていくのに大きなハンデがあるので、循環バスの路線を設け、八坂地区から大町駅についた人を市内の西友、ビック等へ行けるように（駐車場に入れるよう）現在調整しています。東洋紡の跡地については現在、工業専用地域で製造業に限られた利用の仕方になっていますが、様々な業種の企業が参入できるように準工業地域として指定替えを計っている最中です。東洋紡の跡地を道の駅のような施設を設け大町市の玄関口にして情報発信が出来るのではと思います。ただし、松本・糸魚川連絡道路がどのルートになるか定まってないので、なかなか具体的な話にならないのが現状です。

**出席者**

相川トンネルの下の工事はいつごろになるのか。

**市長回答**

大町建設事務所が、軟弱地盤なので排水工事に設計変更している。優先順位の関係で遅れているが粘り強く工事を進めていただくよう要請していく。

**出席者**

八坂小学校の1年生が一人という状況で先生と生徒が一对一の状態で横の人と話すこともできない中、育てる会との連携を深めては。住民参加型のコミュニティスクールのアンケートで、学校支援をしてもいいという方が予想以上に多い中で、市の協力をお願いしたい。また、支所の統廃合はあるのか。

**市長回答**

・まず支所の統廃合は考えていないとここで明言します。理由は平成26年度の地方交付税の考え方に、合併して面積が大幅に増加した自治体に対しては割増で配分しようという改善等が出てきているためです。

・社会に開かれた学校という意識の中で地域の皆さんの学校への参加意欲を高めていきたい。これは協働のまちづくりの原点です。例えば、道路の愛護活動や河川の清掃で見られる訳ですが地域の皆さん同士で協力し合って解決できる課題もあるのではないかと考えます。行政に任せとけばいいという考えを変えて頂くことも必要ではないかと考えます。

・育てる会への支援は現在、具体的な話はないが衆議院議員さんが中心となり市と農村の交流について何らかの立法化を目指す動きがありますので注目しています

**出席者**

八坂支所長の判断で使える予算を増やして欲しい。切久保から美麻に抜ける

県道を拡幅して頂きたい。定住促進住宅についてさらに増やして欲しい。教育について区割り制を変えて希望者があれば大町から八坂へ来れるようにしてはどうか。

**市長回答**

・道路・河川の改修等については、予算を大きくまとめておいた方が機動性が良いので道路等の維持補修であれば、本庁の建設課の予算が、公正さを保ったうえで八坂支所に間違いなく配分されます。

・道路幅の問題ですが、八坂地区は高低差が大きい地形が影響していると思われませんが、県に要請していきたい。

・定住促進住宅ですが6棟で終わりではなく、また今後家賃を下げたり、市内からの入居を認めたりすることを検討しています。

・山村留学ですが、通学区を超えて通学を認めることも考えています。

**出席者**

土地改良の作の平の市道修繕について、市・県の垣根を越えてお願いしたい。

**市長回答**

もう1回担当者に話をして頂きたい。その後市長への手紙でも結構です。

**出席者**

定住促進住宅の件ですが横瀬の集落にも建設をお願いしたい。

**市長回答**

集落機能を維持しながら定住促進住宅事業を何とか進めていきたい。

**出席者**

県道舟場・矢下線で中学校から矢下の間が、ふれあいバスの通行には狭いので改良をお願いしたい。松本・糸魚川連絡道路は東側ルートで決定なのか。

**市長回答**

・県道小菅から矢下までの間は通学路になっておりますので県へしっかりと要望したいと思います。

・松糸道路は様々なメリットがある東ルートで進めてまいります。

**出席者**

浄化槽50人槽(組合)の管理を10件でしているが、1件だけ滞納者がおり会費が集まりません。9月又は10月頃退去する予定であったが、退去の手続きが取れていない。市でどうにかして頂きたい。

**市長回答**

管理組合の中でまず御尽力いただきたい。

**八坂支所長**

建設課にも話が通っており何回も催促しておりますが、裁判等は考えていません。約束を履行してもらうのが第一であると同っております。

**出席者**

大町麻績インター線について、2t車までしか通れない。交通調査で大型車は通れないことになってしまう。この辺はどうか。

**市長回答**

大町市街地から麻績インターに抜けるための道路というより、大町麻績インター線の名前の付け方が便宜的に付いていると解釈している。大町から山清路迄スムーズに来て、そこから先は優先順位が低いのではないかと考えております。

**出席者**

堆肥センターとゴミ焼却施設の現況は。

**市長回答**

・堆肥センターについて、牛糞の堆肥は従来通り継続します。市内の小中学校から出る給食残渣を収集しての堆肥化は新しい業務になります。また、収集の区域を広げたいと思っております。

・ゴミ焼却施設ですが、源汲地区が候補地から予定地として決定させて頂きました。ただし温泉郷自治会が反対の声を上げており、観光客が減少するのではないかと懸念されているところでありますが、粘り強く交渉してまいります。

4 閉回のことば 【降旗自治振興会議議長】

以上をもって本日の会議を終了いたします。